

2017年度 決算説明資料

2018年5月30日



- トピックス
- 2017年度 決算概況
- 2018年度 通期業績予想
- 米国工場の改善プロジェクトの進捗

合肥アーレスティ 新鑄造工場が竣工

2018年3月に新鑄造工場が竣工（新規受注及び受注拡大に対応）

2018年3月に新鑄造工場が竣工。
加工工場、事務所棟は2018年9月に竣工予定。
(写真 新鑄造工場 外観・内部)

【2018年9月竣工時（予定）】
工場面積 土地：67,182m²
建屋：46,235m²

※内、増築予定分

鑄造工場：5,103m²
加工工場：12,856m²
事務所棟：3,509m²

増築完了後の増強可能な生産能力
(鑄造機15台 → 約23台)
(加工機73台 → 約160台)

■ 2017年9月時点

(工場面積) 土地：48,420m²
建屋：24,767m²



アーレスティ山形 18年度に増改築工事開始

電動系部品の新規受注による工場の増改築

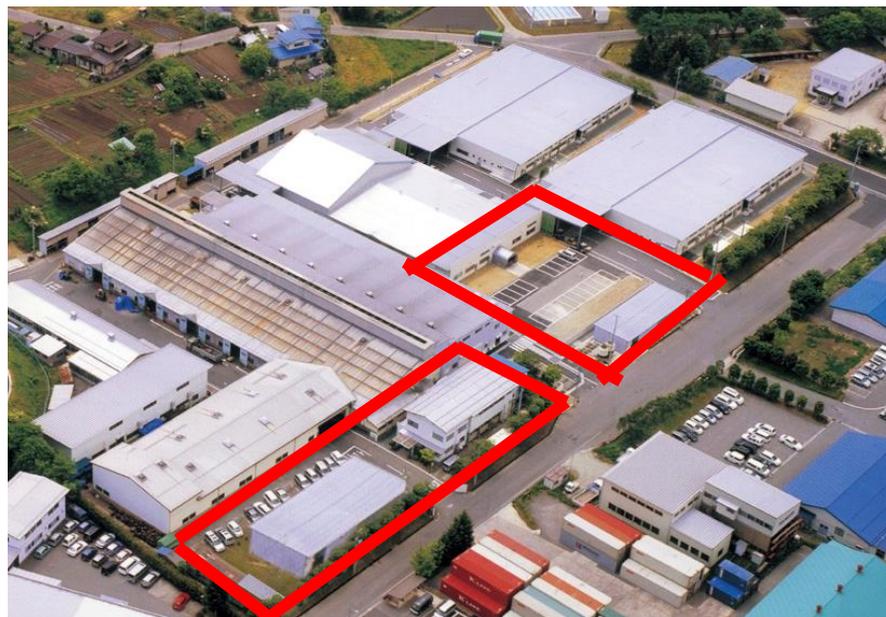
【2019年1月以降（予定）】
第一加工棟新築 1,250㎡

【2019年9月以降（予定）】
溶解棟新築 650㎡
(溶解炉、熱処理炉)

【2018年10月以降随時設置】
ダイカストマシン : 2台増設
加工機 : 20台増設

■ 2018年3月時点
(工場面積) 建屋 : 13,614㎡

増改築部分赤枠表示



一気通貫ライン（鋳造、バリ取り、加工）を構築し、無駄の削減を図る

- トピックス
- 2017年度 決算概況
- 2018年度 通期業績予想
- 米国工場の改善プロジェクトの進捗

2017年度 決算のポイント

(単位：百万円)

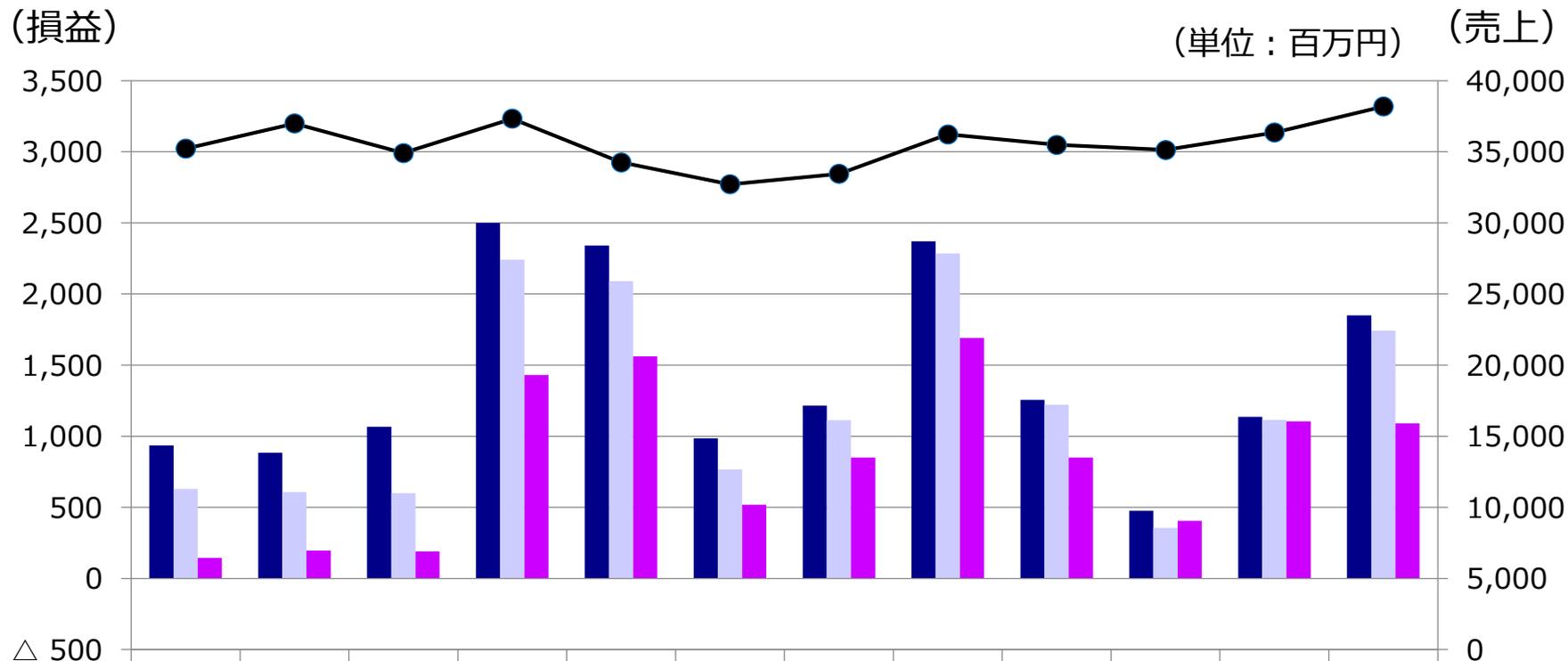
	2016年度		2017年度		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	136,657	100.0%	145,167	100.0%	8,510	6.2%
営業利益	6,912	5.1%	4,718	3.3%	△2,194	△31.7%
経常利益	6,256	4.6%	4,436	3.1%	△1,820	△29.1%
当期純利益	4,620	3.4%	3,450	2.4%	△1,170	△25.3%
EBITDA	20,693	15.1%	19,617	13.5%	△1,076	△5.2%
EPS (円)	178.77		133.40			

※EBITDA=営業利益+減価償却費

《全体感》

- 売上：受注量増加、アルミ地金市況上昇の影響等により増加
- 営業利益：米国、栃木工場での生産性改善の遅れ、価格改定の影響等により減益
- 経常利益：営業利益の減少により減益
- 当期純利益：経常利益の減少により減益も、北米の税効果により減益幅圧縮
- EPS：当期純利益の減少により、45.37円/株減少

連結決算概要（四半期推移）



	15年度 1Q	15年度 2Q	15年度 3Q	15年度 4Q	16年度 1Q	16年度 2Q	16年度 3Q	16年度 4Q	17年度 1Q	17年度 2Q	17年度 3Q	17年度 4Q
△ 500												
■ 営業損益	936	883	1,066	2,500	2,340	986	1,216	2,370	1,255	477	1,136	1,850
■ 経常損益	629	607	599	2,242	2,090	767	1,113	2,286	1,222	356	1,115	1,743
■ 当期純損益	144	197	191	1,431	1,562	518	850	1,690	850	405	1,105	1,090
● 売上高	35,217	36,989	34,913	37,332	34,258	32,718	33,453	36,228	35,494	35,136	36,359	38,178

ダイカスト事業

(単位：百万円)

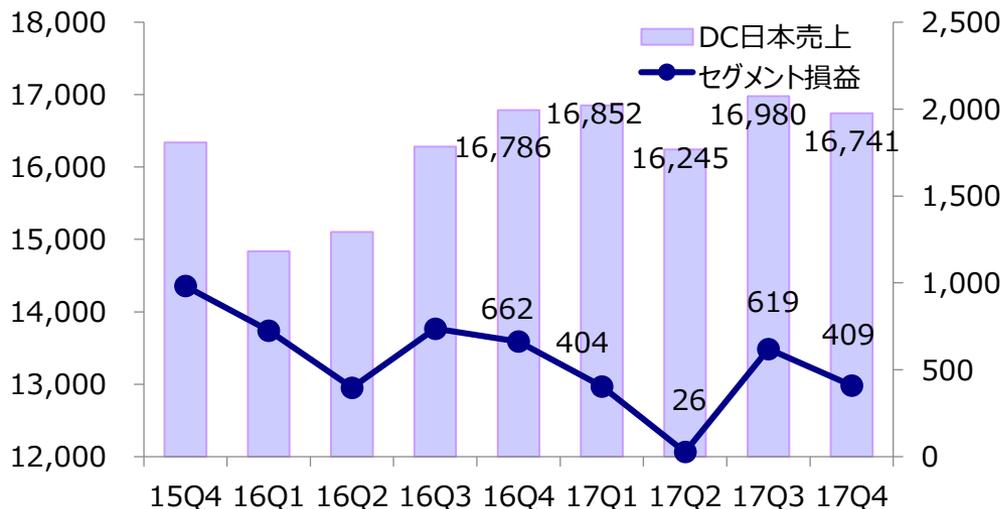
		2016年度		2017年度		増減	
日本	売上高	63,008	100.0%	66,818	100.0%	3,810	6.0%
	セグメント損益	2,519	4.0%	1,458	2.2%	△1,061	△42.1
北米	売上高	40,854	100.0%	39,937	100.0%	△917	△2.2%
	セグメント損益	2,163	5.3%	291	0.7%	△1,872	△86.5%
アジア	売上高	26,128	100.0%	30,442	100.0%	4,314	16.5%
	セグメント損益	1,758	6.7%	2,378	7.8%	620	35.2%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2016年度：51.5% ⇒ 2017年度：51.3%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



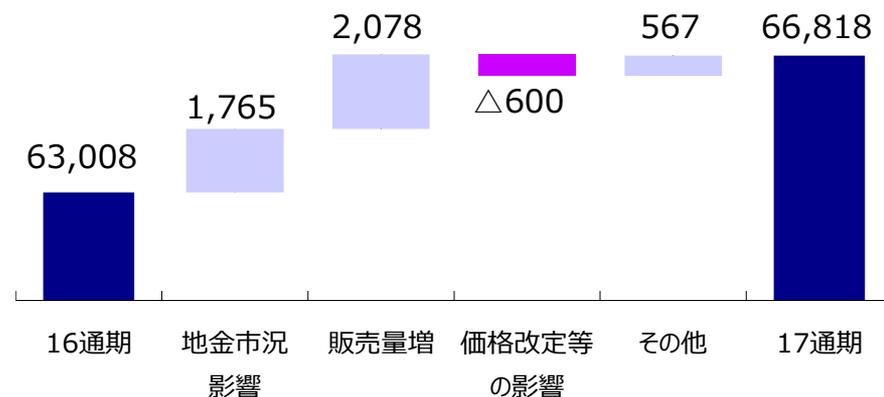
売上：38.1億円増（前期比6.0%増）

➤ 主要顧客の輸出が好調で受注量が増加

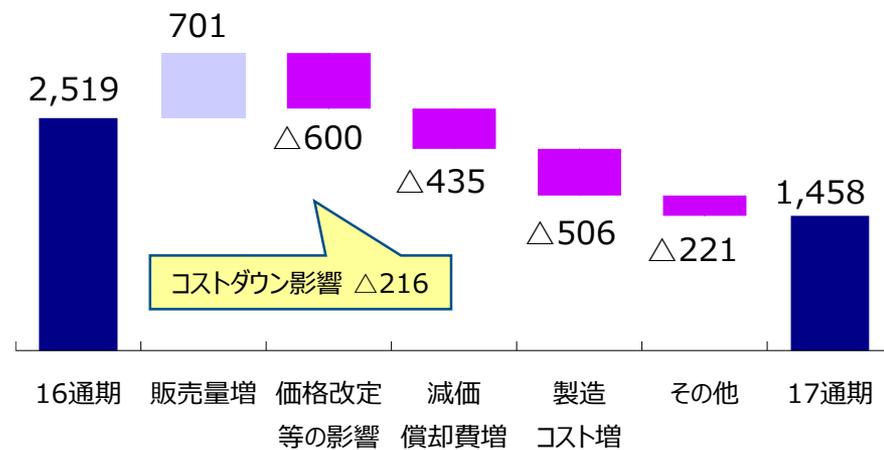
セグメント損益：10.6億円減（前期比42.1%減）

- 労務費、燃料費の増加の影響等もあり減益
- 国内工場の生産性向上により収益は改善中
- 栃木工場は製造コスト削減のため省人化等推進中

売上高増減要因（単位：百万円）

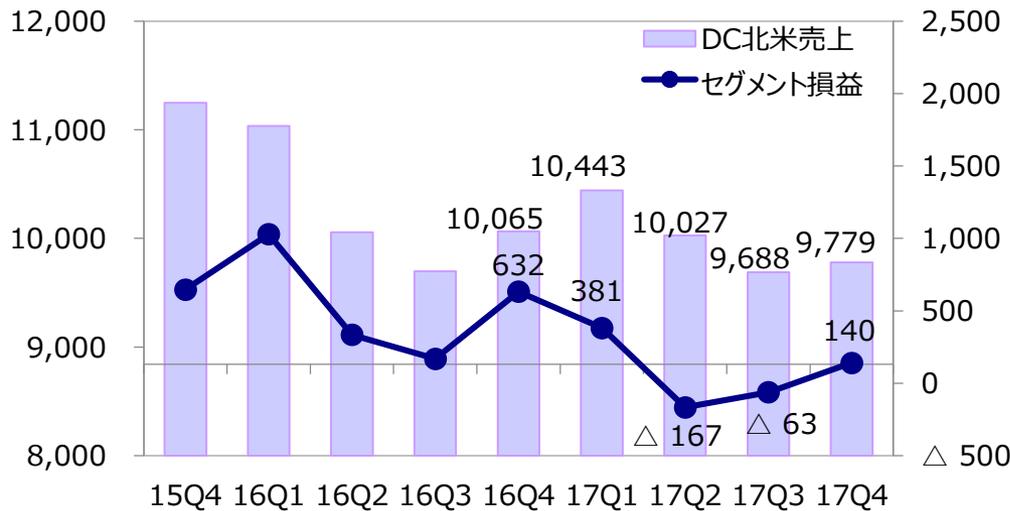


セグメント損益増減要因（単位：百万円）



ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



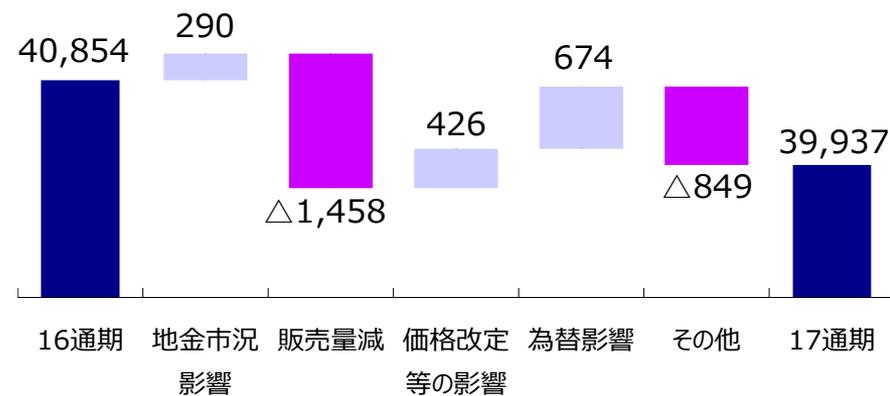
売上：9.1億円減（前期比2.2%減）

- 米国はダウンサイジング等の影響による受注減
- メキシコでは受注増加傾向

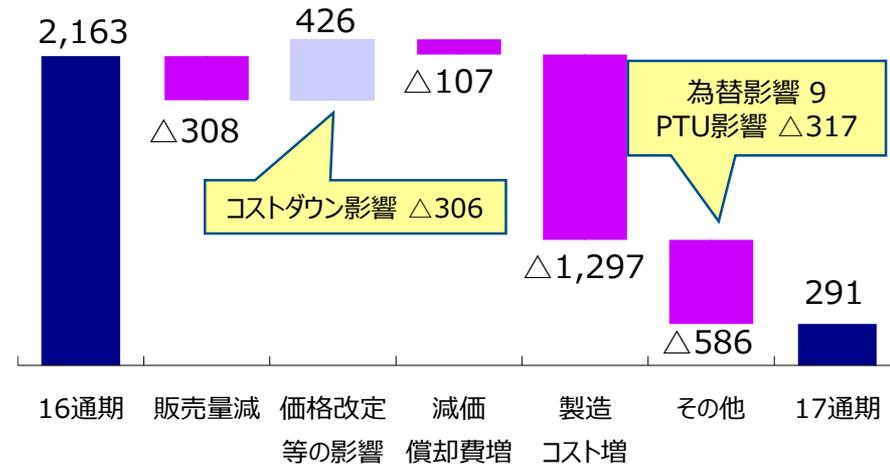
セグメント損益：18.7億円減（前期比86.5%減）

- 米国は売上減少と生産性改善の遅れにより減益プロジェクトが1月から始動し、生産性改善の推進中
- メキシコは販売増による増益を燃料費増等が打消し（2017年度1Qより、PTUを営業利益に計上）

売上高増減要因（単位：百万円）



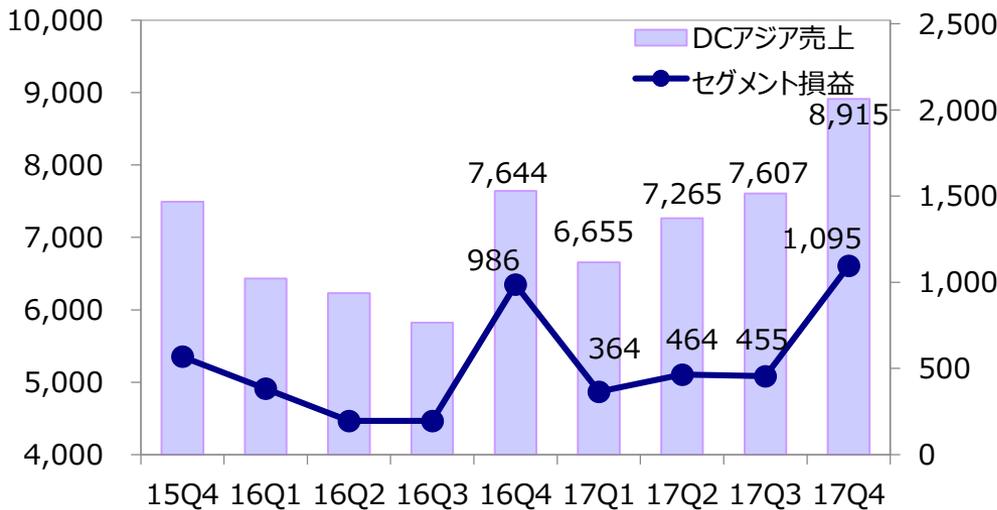
セグメント損益増減要因（単位：百万円）



決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期
レート（16Q4⇒17Q4）アメリカ 109.18⇒110.83 メキシコ 110.30⇒112.39

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：43.1億円増（前期比16.5%増）

- 中国はSUV増産等による受注増
- インドも受注増により売上増加

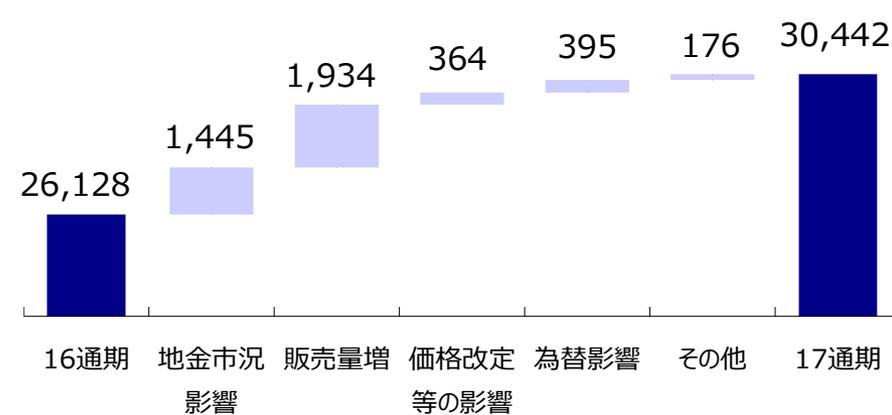
セグメント損益：6.2億円増（前期比35.2%増）

- 中国・インドでの受注増加により増益
- 中国の生産性改善も収益に貢献

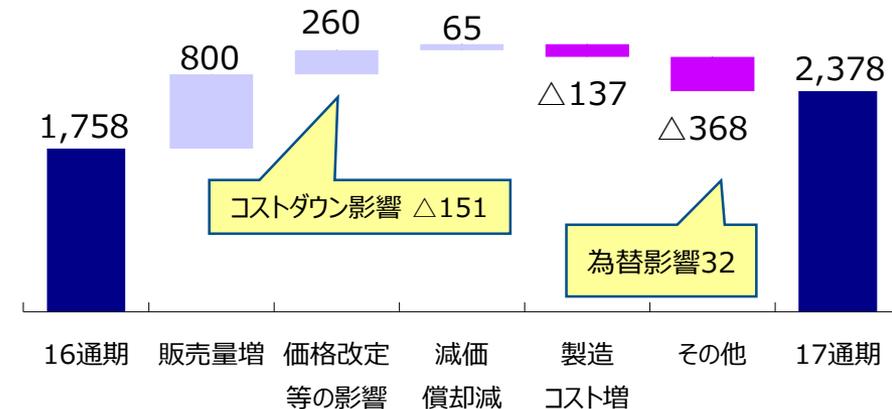
決算期：中国12月期、インド3月期

レート（16Q4⇒17Q4） 人民元 16.56⇒16.64 インドルピー 1.63⇒1.72

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2016年度		2017年度		増減	
		売上高	セグメント損益	売上高	セグメント損益	増減	増減率
アルミニウム事業	売上高	4,402	100.0%	4,597	100.0%	195	4.4%
	セグメント損益	274	6.2%	213	4.6%	△61	△22.2%
完成品事業	売上高	2,263	100.0%	3,371	100.0%	1,108	49.0%
	セグメント損益	155	6.8%	392	11.6%	237	151.6%

アルミニウム事業

- ▶ 売上：アルミ地金市況変動の影響を受け増収（前期比4.4%増）
- ▶ セグメント損益：燃料費の価格上昇等により減益（前期比22.2%減）

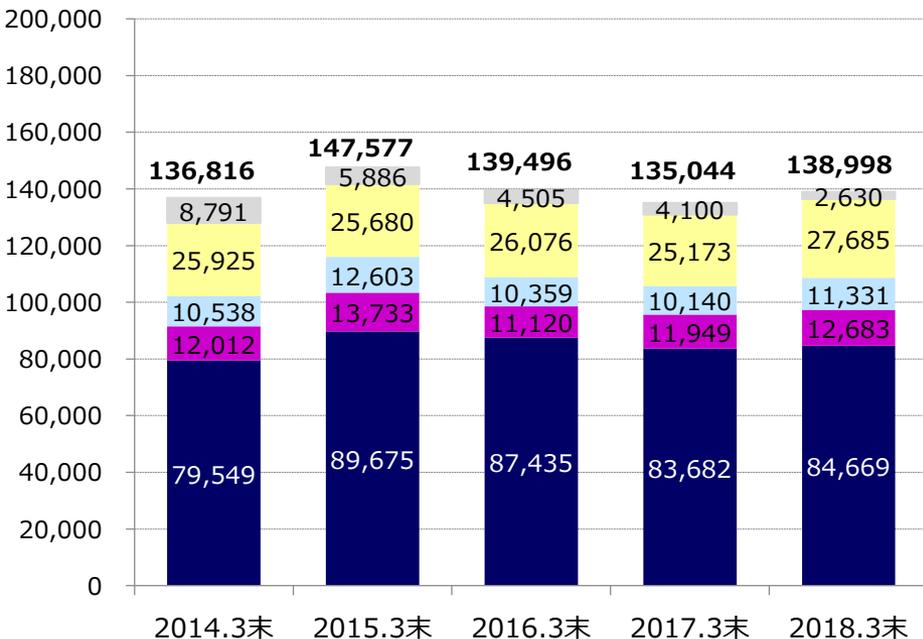
完成品事業

- ▶ 売上：受注の増加により増収（前期比49.0%増）
- ▶ セグメント損益：売上の増加、原価低減活動等により増益（前期比151.6%増）

連結貸借対照表

■ 資産の部

(単位：百万円)



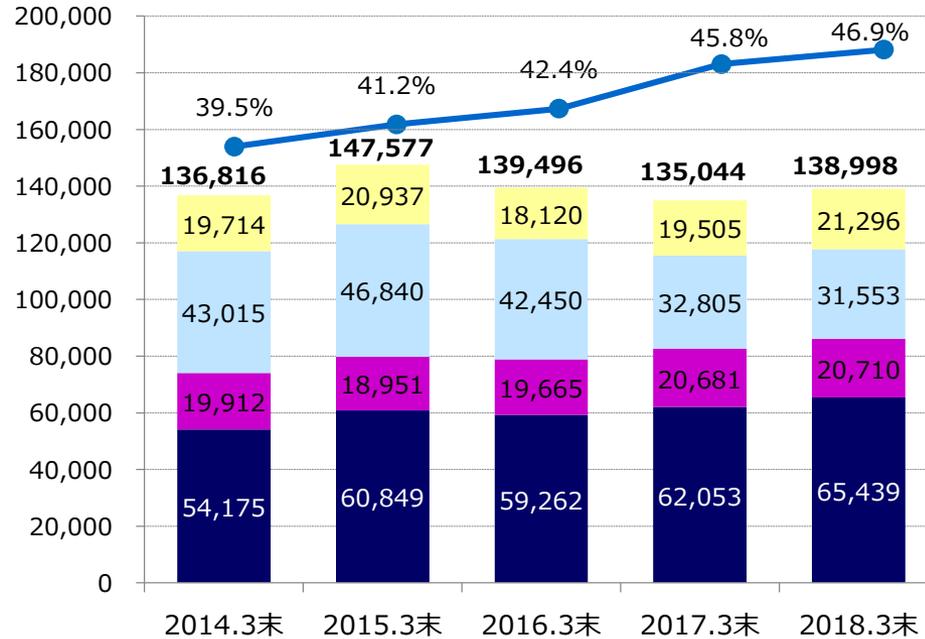
■ 現預金 ■ 売上債権 ■ 棚卸資産 ■ その他資産 ■ 有形無形固定資産

▶ 2017年3月末からの増減

資産：為替影響 39億円増加⇒純増減：約47億円の増加
 流動資産：約20億円増加
 (売上額の増加により売上債権、棚卸資産が増加)
 固定資産：約27億円増加
 (有形固定資産：国内・アジアで増加
 投資有価証券：株価上昇により増加)

■ 負債の部

(単位：百万円)



● 自己資本比率
 ■ 仕入債務 ■ 長短借入金 ■ その他負債 ■ 純資産

▶ 2017年3月末からの増減

負債：為替影響 約6億円の増加⇒純増減：約12億円の増加
 (長短借入金は減小)
 純資産：当期純利益等により約34億円増加
 自己資本比率：46.9%となり1.1ポイント改善

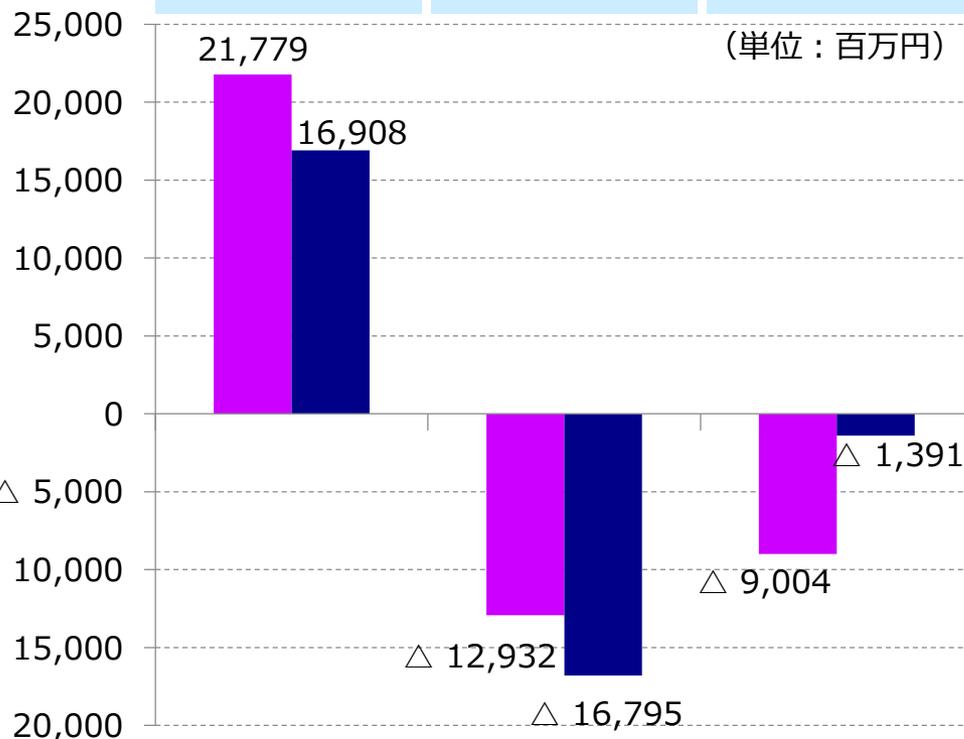
連結キャッシュ・フロー

■ 2016年度
■ 2017年度

営業活動による
キャッシュフロー

投資活動による
キャッシュフロー

財務活動による
キャッシュフロー



17年度キャッシュフロー増減要因

➤ 営業CF

税金等調整前純利益	41億
減価償却費	148億
売上債権の増加 (-)	23億
棚卸資産の増加 (-)	10億
仕入債務の増加 (+)	17億

➤ 投資CF

国内・アジアの設備投資が増加

➤ 財務CF

長短借入金の減少
(17/3末 328億 → 18/3末 315億)

- トピックス
- 2017年度 決算概況
- 2018年度 通期業績予想
- 米国工場の改善プロジェクトの進捗

2018年度 通期計画

(単位：百万円)

	2017年度		2018年度 計画		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	145,167	100.0%	152,000	100.0%	6,832	4.7%
営業利益	4,718	3.3%	5,800	3.8%	1,081	22.9%
経常利益	4,436	3.1%	5,300	3.5%	863	19.5%
当期純利益	3,450	2.4%	3,600	2.4%	149	4.3%
EPS (円)	133.40		139.17			

実績の為替レート (通期平均) : USD 米110.83円 メキシコ112.39円 人民元 16.64円 ルピー 1.72円
 計画の前提レート : USD 110円 人民元 16.0円 ルピー 1.75円

2018年度 業績予想

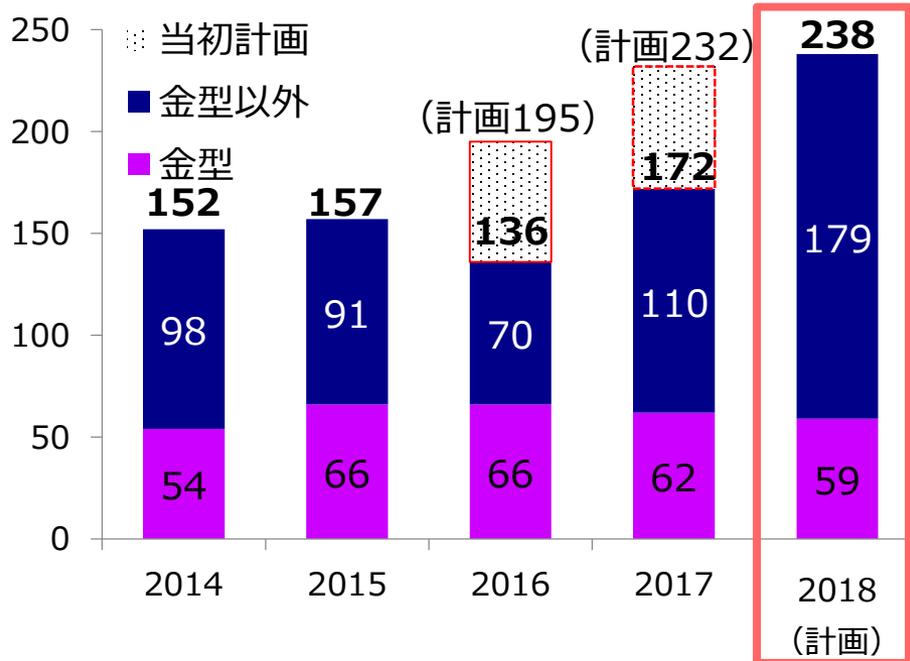
(単位：百万円)

		2017年度		2018年度 計画		増減	
日本	売上高	66,818	100.0%	69,800	100.0%	2,982	4.5%
	セグメント損益	1,458	2.2%	2,150	3.1%	692	47.5%
北米	売上高	39,937	100.0%	41,000	100.0%	1,063	2.7%
	セグメント損益	291	0.7%	1,470	3.6%	1,179	405.2%
アジア	売上高	30,442	100.0%	33,000	100.0%	2,558	8.4%
	セグメント損益	2,378	7.8%	1,900	5.8%	△478	△20.1%
アルミニウム	売上高	4,597	100.0%	5,000	100.0%	403	8.8%
	セグメント損益	213	4.6%	110	2.2%	△103	△48.4%
完成品	売上高	3,371	100.0%	3,200	100.0%	△171	△5.1%
	セグメント損益	392	11.6%	170	5.3%	△222	△56.6%

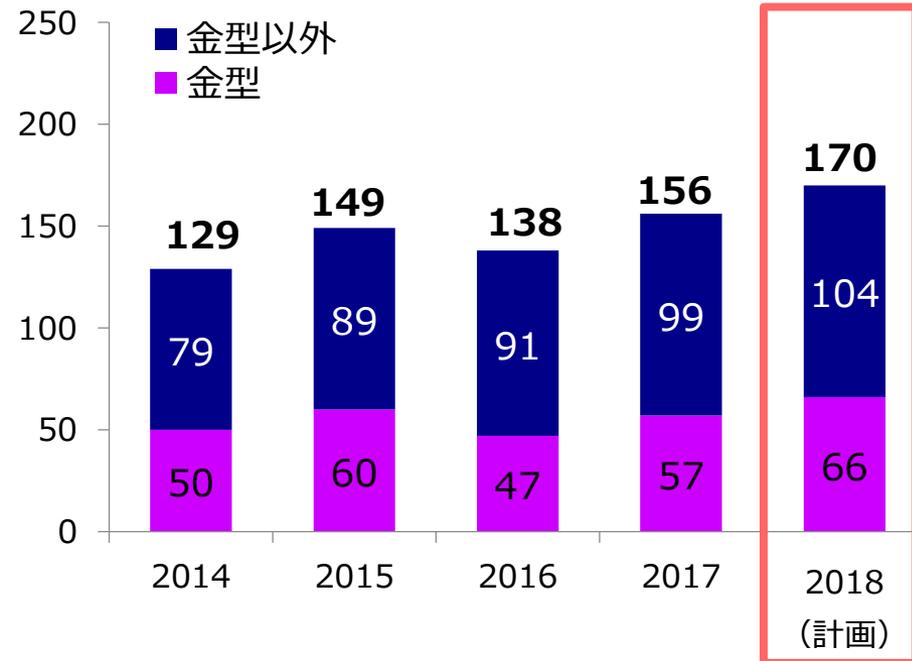
- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2017年度：51.3% ⇒ 2018年度：51.5%

設備投資・減価償却の動向

設備投資額の推移 (単位：億円)



減価償却費の推移 (単位：億円)



2018年度

- 投資内容 ダイカスト：能力維持、合理化投資を中心 加工：海外拠点の能力拡充投資を中心
- 設備投資金額：合計238億円（一般設備投資 179億円、金型投資 59億円）

配当

1株当たり配当金	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 予想
(年間)	14	20	26	26
中間配当	6	8	12	12
期末配当	8	12	14	14
1株当たり純損益(連結)	75.97	178.77	133.40	139.17
配当性向(連結)	18.4	11.2	19.5	18.7

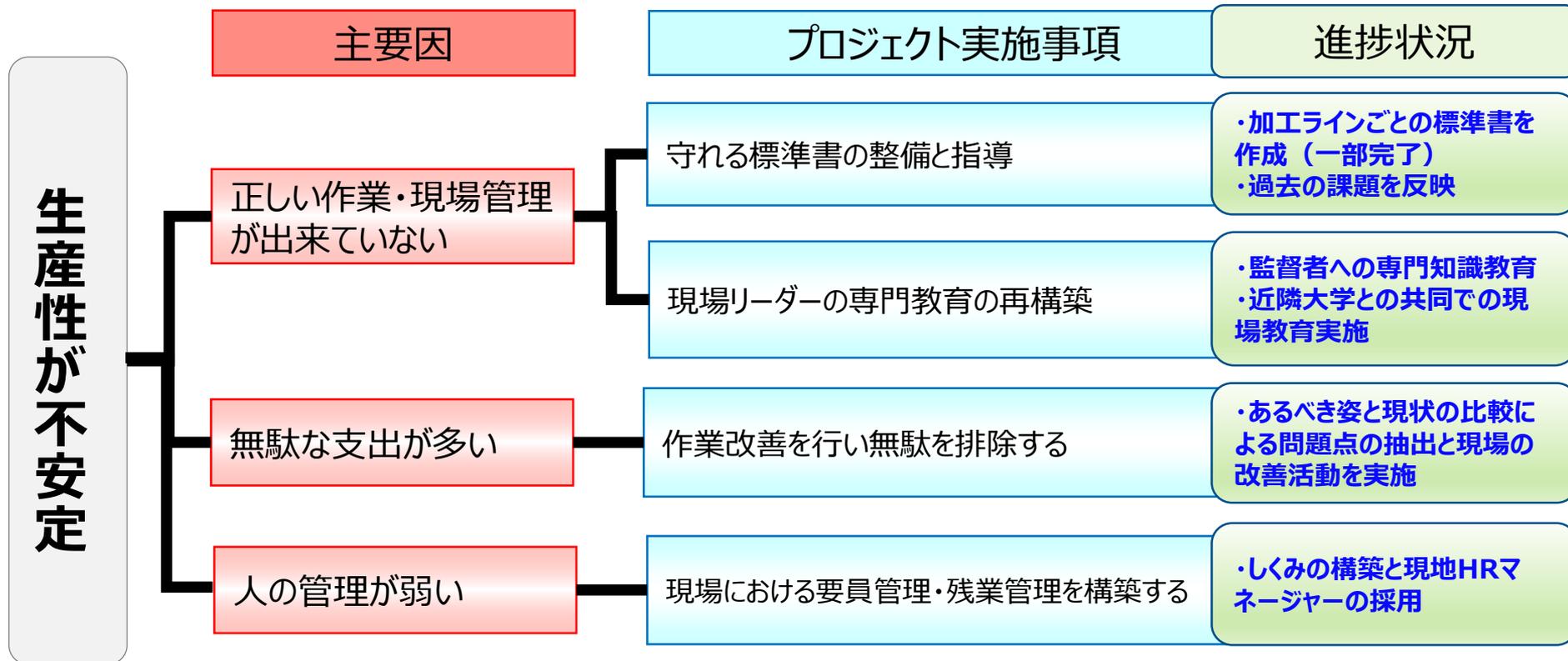
- 2017年度は期初計画の下方修正を行ったが、配当については期初計画通り中間配当を4円、期末配当を2円増配し年間26円の配当を実施
- 2018年度は、年間26円の配当を予想
- 中長期的な企業成長に必要な経営基盤や配当性向等を勘案し適正な利益還元を推進

- トピックス
- 2017年度 決算概況
- 2018年度 通期業績予想
- 米国工場の改善プロジェクトの進捗

米国工場 改善プロジェクト

2014から15年の業績悪化は一旦改善されたが、改善が安定して継続していない。
安定した状態を維持しながら改善活動を行っていくため、改善プロジェクトを2018年1月より始動。

アメリカの現地スタッフを中心に活動を行い日本人がサポート





Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664
E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com
URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。